

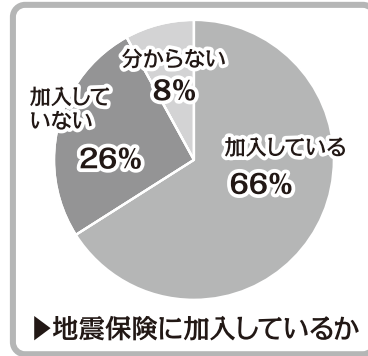
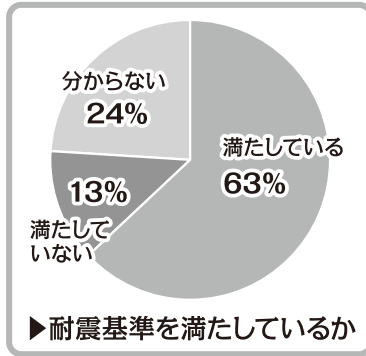
災害対策アンケートを実施しました。

田川地区防災部会では昨年8月に、各家庭の防災に対する意識や取組みの現状を把握する目的でアンケートを実施し、200世帯から回答をいただきました。公民館報を通じてその結果の概要をお知らせします。



◆家の耐震基準・地震保険加入状況

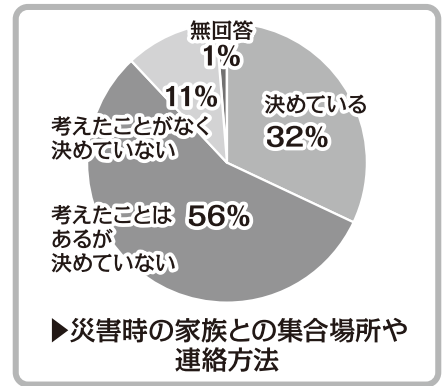
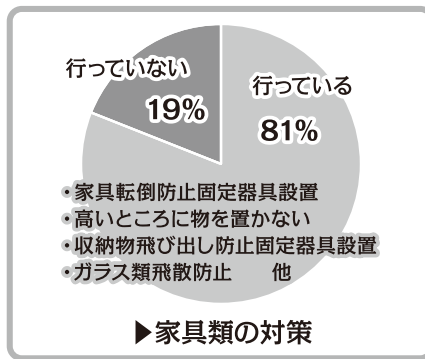
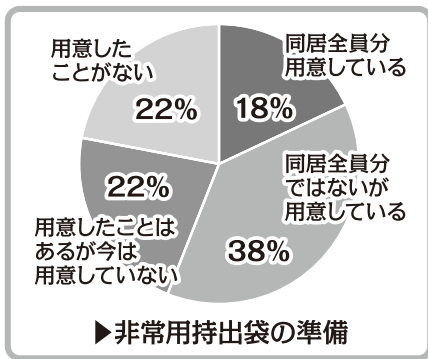
耐震基準を満たしている、地震保険に加入している世帯はそれぞれ全体の約6割でした。新耐震基準(1981年)を満たしていれば自宅避難が可能な場合もあり、地震保険に加入することによって被災後の生活再建に必要な資金を確保できます。分からない世帯はぜひ確認いただきたい。



◆平時の備え：非常用持出袋の用意／家具類の対策／集合場所・避難経路

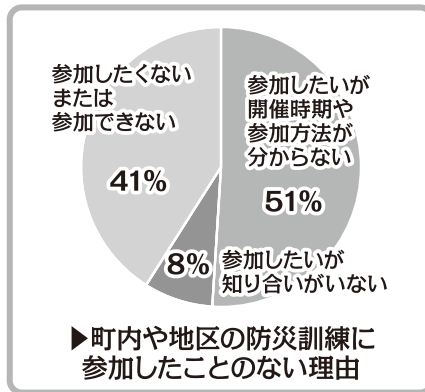
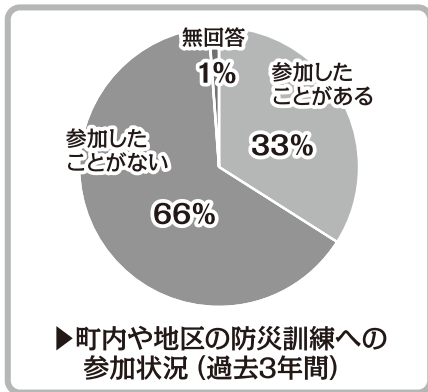
非常用持出袋は一人ひとつの用意が必要とされていますが、できているのは18%のみでした。また家具類の対策は、家具転倒防止や収納物の飛び出し防止など、81%の世帯が行っていますが、災害時の家族との集合場所や連絡方法を「決めていない」のは7割近いという状況であり、有事を想定して平時からの備えをもう一歩進めましょう。

令和8年3月1日現在	
総世帯数	2,065世帯
総人口	3,942人
男	1,892人
女	2,050人



◆地区・町会の防災訓練への参加状況

過去3年間の地区や各町会の防災訓練に66%が参加したことがないという状況でした。その理由として「開催時期や参加方法が分からない」が最も多く、ついで「参加したくない、または参加できない」が挙がっています。また、参加したくない、参加できない理由もあわせて回答いただきました。



防災士からのコメント

地区の皆さま、ご協力ありがとうございました。

皆さまの災害対策に対する意識や考え方を把握することができ、よかったですと考えます。

ご意見にもありましたが、今後は防災訓練の取組みについて、より有効な知識や技術を学ぶ内容を検討し、多くの方に参加して

いただくことで、田川地区全体の防災意識の底上げを図っていききたいと思います。【防災士 小林】



参加したくない

- ・面倒くさい
- ・効果が分からない
- ・ただ集まって避難することより焦点を絞ったり、被災したりしたときの復旧手順を学ぶ訓練の方が大事だと思う

参加できない

- ・日程を合わせられない
- ・身体が不自由、高齢のため

